

料の使用量曲線は奇妙に一致する。

そして、一般的に硝酸塩の致死量は 5000mg/kg (ppm) と言われている。EU の基準では概ね 2500ppm 以下にする事が定められている。その数値を超えると汚染野菜として廃棄されている。しかし、次の表をご覧ください。

(表 5) 青果物中の硫酸塩の含有量

品名	最高値	最高値の平均	全体の平均値	
チンゲンサイ	16.000	6.175	3.713	**
バクチョイ	11.000	11.000	8.200	**
ターサイ	10.000	6.100	4.310	**
ダイコン	9.800	3.235	1.528	
コマツナ	9.000	5.785	3.571	**
ツマミナ	8.900	5.800	4.273	
バセリ	7.569	4.190	3.370	**
ハスイモ	7.000	7.000	5.500	
ハウレンソウ	6.200	4.196	2.651	**
シュンギク	6.070	4.191	3.012	**
セロリ	5.800	4.080	2.884	
ミツバ	4.900	3.420	2.871	**
野沢菜	4.230	4.230	2.810	
カブ	4.100	2.711	1.406	
サラダナ	4.000	2.860	2.174	**
レタス	3.900	1.992	1.193	
コーラルビー	3.300	3.300	2.234	
ニラ	3.200	2.465	1.378	**
高菜	3.100	2.500	1.924	
ハクサイ	3.030	2.124	1.338	
カイワレダイコン	2.600	1.663	1.268	**
サトイモ	2.600	1.850	876	
ゴボウ	2.530	2.410	1.840	
アサツキ	2.400	1.950	1.400	**
ワケギ	2.348	1.399	695	
大根	2.100	1.415	986	
フキ	2.000	1.470	1.150	
キャベツ	1.900	1.105	825	
グリーンボール	1.900	1.750	1.463	
ヤマトイモ	1.600	1.410	763	
ナガイモ	1.410	1.410	1.140	
ニンジン	1.100	683	299	
カリフラワー	800	800	496	

(東京都の過去 22 年間のデータから一部抜粋) (mg/kg)

これは東京都が発表したデータである。

ほとんどの野菜が EU の基準を上回り、チンゲンサイに至っては致死量の 3 倍にもなるという事実である。

33 種のうち 12 種が致死量を超えているという事実 (約 27%) これを異常事態と呼ばずして何を異常と定義づけるのであろうか? 因果関係がはっきりしていないと今まで日本の厚生労働省も農林水産省も重い腰を上げなかった。

しかし、国家予算の半分が医療に向けられている事態を前に無視出来なくなったのか、やっと対策に入る事となった。手遅れにならなければ良いが。